

薬品情報

No. 362
2017/3/7
監修 三浦 昌朋
編集 薬品情報室

主な内容

1. 新規採用薬品一覧
2. 製造販売中止による処方オーダー停止薬品
3. 販売名称変更薬品
4. 採用中止薬品および切り換え薬品
5. その他(薬品の自主回収、偽造薬品に関する注意喚起)
6. 後発薬品への変更について

1. 新規採用薬品一覧

[院内採用薬品]

2139: その他の利尿剤

<p>イソソルビド Isosorbide イソバイドシロップ 70%分包装 30mL Isobide</p> <p style="text-align: right;">処 興和株式会社</p> <p>[剤] 内用：内用液剤 [組] 30mL 中イソソルビド 21.0g を含有</p>	<p>[効] (1) 脳腫瘍時の脳圧降下、頭部外傷に起因する脳圧亢進時の脳圧降下、腎・尿管結石時の利尿、緑内障の眼圧降下 (2) メニエール病</p> <p>[用] (1) 通常成人 1 日量 70~140mL を 2~3 回に分けて経口投与する。症状により適宜増量する。必要によって冷水で 2 倍程度に希釈して経口投与する。 (2) 1 日体重当り 1.5~2.0mL/kg を標準用量とし、通常成人 1 日量 90~120mL を毎食後 3 回に分けて経口投与する。症状により適宜増減する。必要によって冷水で 2 倍程度に希釈して経口投与する。</p>	<p>[禁] 本剤及び本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。急性頭蓋内血腫のある患者。</p> <p>[副] 重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状</p>
--	--	--

2259: その他の気管支拡張剤

<p>インダカテロールマレイン酸塩 Indacaterol maleate オンブレス吸入用カプセル 150μg Onbrez inhalation capsules</p> <p style="text-align: right;">処 ノバルティスファーマ</p> <p>[剤] 外用：吸入粉末剤（硬カプセル剤） [組] 1 カプセル中にインダカテロールとして 150μg を含有</p>	<p>[効] 慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解</p> <p>[用] 通常、成人には 1 回 1 カプセル（インダカテロールとして 150μg）を 1 日 1 回本剤専用の吸入器具を用いて吸入する。</p>	<p>[禁] 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>[副] 重大な副作用 重篤な血清カリウム値の低下</p>
---	---	---

2699:他に分類されない外皮用薬

<p>メトロニダゾール Metronidazole ロゼックスゲル0.75% Rozex — マルホ株式会社</p> <p>[剤] 外用：水性ゲル剤 [組] 1g 中メトロニダゾール 7.5mg (0.75%) を含有</p>	<p>[効] がん性皮膚潰瘍部位の殺菌・臭気の軽減 [用] 症状及び病巣の広さに応じて適量を使用する。潰瘍面を清拭後、1日1～2回ガーゼ等にのぼして貼付するか、患部に直接塗布しその上をガーゼ等で保護する。</p>	<p>[禁] 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。脳、脊髄に器質的疾患のある患者。妊娠3ヵ月以内の婦人。 [副] 重大な副作用 なし</p>
---	--	---

3999:他に分類されないその他の代謝性医薬品

<p>セクキヌマブ (遺伝子組換え) Secukinumab コセンティクス皮下注 150mg ペン Cosentyx 生物由来、劇薬、処 マルホ株式会社</p> <p>[剤] 注射剤 [組] 1 シリンジ 1mL 中にセクキヌマブ (遺伝子組換え) 150mg を含有</p>	<p>[効] 既存治療で効果不十分な下記疾患：尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬 [用] 通常、成人にはセクキヌマブ (遺伝子組換え) として、1回 300mg を、初回、1週後、2週後、3週後、4週後に皮下投与し、以降、4週間の間隔で皮下投与する。また、体重により、1回 150mg を投与することができる。</p>	<p>[警] 1. 本剤は結核等の感染症を含む緊急時に十分に対応できる医療施設において、本剤についての十分な知識と乾癬治療の十分な知識・経験をもつ医師のもとで、本剤による治療の有益性が危険性を上回ると判断される症例のみに使用すること。本剤は感染のリスクを増大させる可能性があり、また結核の既往歴を有する患者では結核を活動化させる可能性がある。また、本剤との関連性は明らかではないが、悪性腫瘍の発現が報告されている。治療開始に先立ち、本剤が疾病を完治させる薬剤でないことも含め、本剤の有効性及び危険性を患者に十分説明し、患者が理解したことを確認した上で治療を開始すること。 2. 重篤な感染症：ウイルス、細菌及び真菌等による重篤な感染症が報告されているため、十分な観察を行うなど感染症の発症に注意し、本剤投与後に感染症の徴候又は症状があらわれた場合には、直ちに主治医に連絡するよう患者を指導すること。 3. 本剤の治療を開始する前に、紫外線療法を含む既存の全身療法（生物製剤を除く）の適用を十分に勘案すること。 [禁] 重篤な感染症の患者。活動性結核の患者。本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。 [副] 重大な副作用 重篤な感染症。過敏症反応。 好中球数減少。</p>
---	--	---

4291: その他の抗悪性腫瘍用剤

<p>ポナチニブ塩酸塩 Ponatinib hydrochloride アイクルシグ錠 15 mg Iclusig</p> <p>劇薬、処 大塚製薬</p> <p>【剤】 内用：フィルムコート錠 【組】 1 錠中にポナチニブとして 15 mg を含有</p>	<p>【効】 (1)前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病、(2)再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病</p> <p>【用】 通常、成人にはポナチニブとして 45mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>	<p>【警】1. 本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、造血管悪性腫瘍の治療に対して十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、本剤による治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。</p> <p>2. 心筋梗塞、脳梗塞、網膜動脈閉塞症、末梢動脈閉塞性疾患、静脈血栓塞栓症等の重篤な血管閉塞性事象があらわれることがあり、死亡に至った例も報告されている。本剤の投与開始前に、虚血性疾患、静脈血栓塞栓症等の既往歴の有無、心血管系疾患の危険因子の有無等を確認した上で、投与の可否を慎重に判断すること。また、本剤投与中は患者の状態を十分に観察し、胸痛、腹痛、四肢痛、片麻痺、視力低下、息切れ、しびれ等の血管閉塞性事象が疑われる徴候や症状の発現に注意すること。</p> <p>3. 重篤な肝機能障害があらわれることがあり、肝不全により死亡に至った例も報告されているので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。</p> <p>【禁】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。妊婦又は妊娠している可能性のある女性。</p> <p>【副】 重大な副作用 冠動脈疾患。脳血管障害。末梢動脈閉塞性疾患。静脈血栓塞栓症。骨髄抑制。高血圧。肝機能障害。膵炎。体液貯留。感染症。重度の皮膚障害。出血。心不全、うっ血性心不全。不整脈。腫瘍崩壊症候群。ニューロパチー。肺高血圧症。</p>
--	---	---

625: 抗ウイルス剤

<p>ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 Laninamivir Octanoate Hydrate イナビル吸入粉末剤 20mg Inavir</p> <p>処</p>	<p>【効】 A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防</p> <p>【用】 (1)治療に用いる場合 成人：ラニナミビルオクタン酸エステルとして 40mg を単回吸入投与する。 小児：10 歳未満の場合、ラニナミビルオクタン酸エステルとして 20mg を単回</p>	<p>【警】1. 本剤の使用にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること。 2. インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、本剤の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではない。</p>
---	---	---

<p style="text-align: right;">第一三共</p> <p>【剤】 外用：吸入粉末剤</p> <p>【組】 1 容器中に ラニナミビルオクタン酸エステルとして 20mg を含有</p>	<p>吸入投与する。10 歳以上の場合、ラニナミビルオクタン酸エステルとして 40mg を単回吸入投与する。</p> <p><u>(2)予防に用いる場合</u> 成人：ラニナミビルオクタン酸エステルとして 40mg を単回吸入投与する。また、20mg を 1 日 1 回、2 日間吸入投与することもできる。</p> <p>小児：10 歳未満の場合、ラニナミビルオクタン酸エステルとして 20mg を単回吸入投与する。10 歳以上の場合、ラニナミビルオクタン酸エステルとして 40mg を単回吸入投与する。また、20mg を 1 日 1 回、2 日間吸入投与することもできる。</p>	<p>【禁】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>【副】重大な副作用 ショック、アナフィラキシー。 (類薬) 気管支攣縮、呼吸困難。皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN)、多形紅斑。</p>
--	---	--

7219: その他の X 線造影剤

<p>イオプロミド Iopromide イオプロミド 300 注シリンジ「FRI」 イオプロミド 370 注シリンジ「FRI」 Iopromide Injection Syringe 処 富士フイルム RI ファーマ</p> <p>【剤】 注射剤</p> <p>【組】 300 注：1mL 中にイオプロミド 623.4mg (ヨードとして 300mg) を含有 370 注：1mL 中にイオプロミド 768.9mg (ヨードとして 370mg) を含有</p>	<p>【効】 脳血管撮影、胸部血管撮影、腹部血管撮影、四肢血管撮影、デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影、デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影</p> <p>【用】 通常、成人 1 回下記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減するが、複数回投与する場合の総投与量は 260mL までとする。</p> <p><u>○イオプロミド 300 注シリンジ</u> 脳血管撮影：5～15mL 胸部血管撮影：5～50mL 腹部血管撮影：5～50mL 四肢血管撮影：10～50mL デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影：20～40mL デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影：3～30mL コンピューター断層撮影における造影：50～100mL 静脈性尿路撮影：50～100mL</p> <p><u>○イオプロミド 370 注シリンジ</u> 血管心臓撮影：3～40mL 胸部血管撮影：5～50mL 腹部血管撮影：5～50mL 四肢血管撮影：10～40mL デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影：20～40mL デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影：3～30mL</p>	<p>【警】 1. ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。 2. 本剤は尿路・血管用造影剤であり、脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髓造影には使用しないこと。</p> <p>【禁】 ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者。重篤な甲状腺疾患のある患者。</p> <p>【副】重大な副作用 ショック (遅発性を含む)。アナフィラキシー (遅発性を含む)。急性腎不全。肺水腫。痙攣発作。心室細動。血小板減少。肝機能障害、黄疸。意識障害、失神。</p>
--	---	--

	コンピューター断層撮影における造影:50~100mL 静脈性尿路撮影:50~100mL	
--	--	--

[院外採用薬品]

1179:その他の精神神経用剤

<p>アトモキシセチン塩酸塩 Atomoxetine Hydrochloride ストラテラカプセル 40mg Strattera</p> <p>劇薬、処 日本イーライリリー</p> <p>[剤] 内用：硬カプセル剤 [組] 1 カプセル中にアトモキシセチンとして 40mg を含有</p>	<p>[効] 注意欠陥／多動性障害 (AD/HD)</p> <p>[用] (1)18歳未満の患者:通常、18歳未満の患者には、アトモキシセチンとして1日0.5mg/kgより開始し、その後1日0.8mg/kgとし、さらに1日1.2mg/kgまで増量した後、1日1.2~1.8mg/kgで維持する。ただし、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日量は1.8mg/kg又は120mgのいずれか少ない量を超えないこと。</p> <p>(2)18歳以上の患者:通常、18歳以上の患者には、アトモキシセチンとして1日40mgより開始し、その後1日80mgまで増量した後、1日80~120mgで維持する。ただし、1日80mgまでの増量は1週間以上、その後の増量は2週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても1日1回又は1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日量は120mgを超えないこと。</p>	<p>[禁] 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。MAO阻害剤を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者。重篤な心血管障害のある患者。褐色細胞腫又はその既往歴のある患者。閉塞隅角緑内障の患者。</p> <p>[副] 重大な副作用 肝機能障害、黄疸、肝不全。アナフィラキシー。</p>
--	--	--

3999:他に分類されないその他の代謝性医薬品

<p>グラチラマー酢酸塩 Glatiramer Acetate コパキソン皮下注 20mg シリンジ Copaxone</p> <p>処 武田薬品</p> <p>[剤] 注射剤 (プレフィルドシリンジ) [組] 1 シリンジ中にグラチラマー酢酸塩 20mg を含有</p>	<p>[効] 多発性硬化症の再発予防</p> <p>[用] 通常、成人にはグラチラマー酢酸塩として20mgを1日1回皮下に投与する。</p>	<p>[禁] 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>[副] 重大な副作用 注射直後反応。注射部位壊死。過敏性反応。</p>
---	--	--

3999:他に分類されないその他の代謝性医薬品

<p>ヒドロキシクロロキン硫酸塩 Hydroxychloroquine Sulfate プラケニル錠 200mg</p>	<p>[効] 皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス [用] 通常、ヒドロキシクロロキン</p>	<p>[警]1. 本剤の投与は、本剤の安全性及び有効性についての十分な知識とエリテマトーデスの治療経験をもつ</p>
---	---	---

<p>Plaquenil</p> <p>毒薬、処方 サノフィ株式会社</p> <p>【剤】 内用:フィルムコーティング錠</p> <p>【組】 1 錠中にヒドロキシクロロキン硫酸塩 200 mg を含有</p>	<p>硫酸塩として 200mg 又は 400mg を 1 日 1 回食後に経口投与する。</p> <p>ただし、1 日の投与量はブローカ式桂変法により求められる以下の理想体重に基づく用量とする。</p> <p>女性の理想体重 (kg) = (身長 (cm) - 100) × 0.85</p> <p>男性の理想体重 (kg) = (身長 (cm) - 100) × 0.9</p> <p>(1) 理想体重が 31kg 以上 46kg 未満の場合、1 日 1 回 1 錠 (200mg) を経口投与する。</p> <p>(2) 理想体重が 46kg 以上 62kg 未満の場合、1 日 1 回 1 錠 (200mg) と 1 日 1 回 2 錠 (400mg) を 1 日おきに経口投与する。</p> <p>(3) 理想体重が 62kg 以上の場合、1 日 1 回 2 錠 (400mg) を経口投与する。</p>	<p>医師のもとで、本療法が適切と判断される患者についてのみ実施すること。</p> <p>2. 本剤の投与により、網膜症等の重篤な眼障害が発現することがある。網膜障害に関するリスクは用量に依存して大きくなり、また長期に服用される場合にも網膜障害発現の可能性が高くなる。このため、本剤の投与に際しては、網膜障害に対して十分に対応できる眼科医と連携のもとに使用し、本剤投与開始時並びに本剤投与中は定期的に眼科検査を実施すること。</p> <p>【禁】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。網膜症（ただし、SLE 網膜症を除く）あるいは黄斑症の患者又はそれらの既往歴のある患者。6 歳未満の幼児 (4-アミノキノリン化合物の毒性作用に感受性が高い)。</p> <p>【副】 重大な副作用</p> <p>眼障害。中毒性表皮壊死融解症 (TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑、紅皮症、薬剤性過敏症症候群、急性汎発性発疹性膿疱症。骨髄抑制。心筋症。ミオパチー、ニューロミオパチー。低血糖。</p>
---	--	--

3999: 他に分類されないその他の代謝性医薬品

<p>シナカルセト塩酸塩 Cinacalcet Hydrochloride レグパラ錠 12.5mg Regpara</p> <p>処方 協和発酵キリン</p> <p>【剤】 内用:フィルムコート錠</p> <p>【組】 1 錠中にシナカルセト塩酸塩 13.78mg を含有</p>	<p>【効】 (1) 維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症</p> <p>(2) 下記疾患における高カルシウム血症</p> <ul style="list-style-type: none"> 副甲状腺癌 副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症 <p>【用】 (1) 開始用量としては、成人には 1 日 1 回シナカルセトとして 25mg を経口投与する。以後は、患者の副甲状腺ホルモン (PTH) 及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1 日 1 回 25~75mg の間で適宜用量を調整し、経口投与する。ただし、PTH の改善が認められない場合には、1 回 100mg を上限として経口投与する。増量を行う場合は増量幅を 25mg とし、3 週間以上の間隔をあけて行うこと。</p> <p>(2) 開始用量としては、成人にはシ</p>	<p>【禁】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>【副】 重大な副作用</p> <p>低カルシウム血症・血清カルシウム減少。QT 延長。消化管出血、消化管潰瘍。意識レベルの低下、一過性意識消失。突然死。</p>
--	--	---

	<p>ナカルセトとして1回25mgを1日2回経口投与する。以後は、患者の血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1回25～75mgの間で適宜用量を調整し、1日2回経口投与する。増量を行う場合は1回の増量幅を25mgとし、2週間以上の間隔をあけて行うこと。なお、血清カルシウム濃度の改善が認められない場合は、1回75mgを1日3回又は4回まで経口投与できる。</p>	
--	---	--

449: その他のアレルギー用薬

<p>ビラスチン Bilastine ビラノア錠 20mg Bilanoa</p> <p style="text-align: right;">処 大鵬薬品</p> <p>【剤】 内用：素錠 【組】 1錠中にビラスチン20mgを含有</p>	<p>【効】 アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒 【用】 通常、成人にはビラスチンとして1回20mgを1日1回空腹時に経口投与する。</p>	<p>【禁】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 【副】 重大な副作用なし</p>
---	---	--

2. 製造販売中止による処方オーダー停止薬品

当院採用の下記薬品について、製造販売中止および切換えのため処方オーダー停止となります。

製造中止薬品	備考
コセンティクス皮下注 150mg シリンジ	‘ペン’製剤採用のため切換え

3. 販売名称変更薬品

当院採用の下記薬品について名称変更となり、順次切換えとなります。

変更前薬品	切換え薬品
イソジンフィールド外用液 10%500mL	ポビドンヨードフィールド外用液 10%「明治」

4. 採用中止薬品および切換え薬品

当院採用の下記薬品について採用中止となり、順次切換えとなります。

採用中止薬品	切換え薬品
アセリオ静注液 1000 mg (テルモ) バッグ製剤の販売開始のため	アセリオ静注液 1000 mg <u>バッグ</u> (テルモ)
ゴナックス皮下注用 80 mg、120 mg (アステラス) 溶解液付包装規格の販売開始のため	ゴナックス皮下注用 80 mg、120 mg 【専用溶解液付】 (アステラス)
ヒュミラ皮下注 40 mg シリンジ 0.8mL (エーザイ) 液量を半量とした製品の販売開始のため	ヒュミラ皮下注 40 mg シリンジ <u>0.4mL</u> (エーザイ)

5. その他

薬品の自主回収

①アピドラ注 100 単位/mL (サノフィ) の自主回収に関して

アピドラ注 100 単位/mL の一部製造ロットにおいて、長期安定性試験で類縁物質の値が、承認規格を上回るものが確認されたため、自主回収となっている。

②クリアクター静注用 80 万 (エーザイ) の自主回収に関して








クリアクター静注用 80 万(10mL/瓶)において、製造工程で規格を一部逸脱した原薬が使用されていたため、自主回収となっている。

偽造薬品に関する注意喚起

C型肝炎治療薬のハーボニー配合錠 (ギリアド・サイエンス社) の偽造品が流通し、調剤された事例が認められたため、医療機関、薬局及び医薬品の販売業者に対し、医薬品の適正な流通の確保のために注意喚起及び必要な指導を行うよう平成 29 年 1 月 25 日付で医政局通知が出されている。































6. 後発薬品への変更 (○：採用後発薬品)

下記 35 品目に関して在庫無くなり次第順次、後発薬品に変更となります。

 <p>アルサルミン内用液 10%</p>	 <p>エカード配合錠 HD</p>
 <p>ガスモチン錠 5 mg</p>	 <p>○カデチア配合錠 HD 「あすか」</p>
 <p>ガスモチン錠 5 mg</p>	 <p>○モサプリドクエン酸塩錠 5 mg 「DSEP」</p>
 <p>コディオ配合錠 EX</p>	 <p>○ビカルタミド OD 錠 80 mg 「NK」</p>
 <p>○バルヒディオ配合錠 EX 「サンド」</p>	 <p>コニール錠 4 mg</p>
 <p>シングレア OD 錠 10 mg</p>	 <p>○ベニジピン塩酸塩錠 4 mg「タナベ」</p>
 <p>○モンテルカスト錠 10 mg 「KM」</p>	 <p>スローケー錠 600 mg</p>
	 <p>○ケーサプライ錠 600 mg</p>

薬品情報 362 号

 <p>セフゾンカプセル 100 mg</p>	 <p>○セフジニルカプセル 100 mg「ファイザー」</p>	 <p>デパス錠 0.5 mg</p>	 <p>○エチゾラム錠 0.5 mg 「SW」</p>
 <p>バクタ配合錠</p>	 <p>○ダイフェン配合錠</p>	 <p>バルトレックス錠 500</p>	 <p>○バラシクロビル錠 500 mg 「アスペン」</p>
 <p>プラビックス錠 75 mg</p>	 <p>○クロビドグレル錠 75 mg 「SANIK」</p>	 <p>リスパダール OD 錠 1 mg</p>	 <p>○リスペリドン OD 錠 1 mg 「ヨシトミ」</p>
 <p>リスパダール内用液 1 mg/mL(1mL/包)</p>  <p>リスパダール内用液 1 mg/mL(2mL/包)</p>	 <p>○リスペリドン内用液 1 mg「ヨシトミ」</p>  <p>○リスペリドン内用液 2 mg「ヨシトミ」</p>	 <p>ロヒプノール錠 1 mg</p>	 <p>○フルニトラゼパム錠 1 mg 「アメル」</p>
 <p>クラビット点眼液 1.5%</p>	 <p>○レボフロキサシン点眼液 1.5% 「ファイザー」</p>	 <p>セボフルラン吸入麻酔液 「マイラン」</p>	 <p>○セボフルラン吸入麻酔液 「ニッコー」</p>
 <p>ブロナック点眼液 0.1%</p>	 <p>○ブロムフェナク Na 点眼液 0.1% 「日新」</p>	 <p>ロキシニンパップ 100 mg</p>	 <p>○ロキシプロフェンナトリウムパップ 100 mg 「ケミファ」</p>
 <p>アルチバ静注用 2 mg</p>	 <p>○レミフェンタニル静注用 2 mg 「第一三共」</p>	 <p>オキサロール注 5 μg</p>	 <p>○マキシカルシトール静注透析用 5 μg 「ニプロ」</p>

 <p>ゲンタシン注 10 mg</p>		 <p>○ゲンタマイシン硫酸塩 注射液 10 mg「日医工」</p>	 <p>サンドスタチン皮下注 100 μg</p>		 <p>○オクトレオチド酢酸塩 皮下注 100 μg「サンド」</p>
 <p>ビソルボン注 4 mg</p>		 <p>○ブロムヘキシン塩酸 注射液 4 mg「タイヨー」</p>	 <p>5-FU 注 250 mg</p>		 <p>○フルオロウラシル注 250 mg「トーワ」</p>
 <p>注射用エラスポール 100</p>		 <p>○シベレスタット Na 点滴 静注用 100 mg「ニプロ」</p>	 <p>ドルミカム注射液 10 mg</p>		 <p>○ミダゾラム注 10 mg 「サンド」</p>
 <p>プリンペラン注射液 10 mg</p>		 <p>○エリーテン注 10 mg</p>	 <p>ラシックス注 20 mg</p>		 <p>○フロセド注射液 20 mg 「日医工」</p>
 <p>イオパミドール 300 注 シリンジ 100mL「HK」</p>		 <p>○オイパロミン 300 注 シリンジ 100mL</p>	 <p>イオパミロン注 370 シリンジ 100mL</p>		 <p>○オイパロミン 370 注 シリンジ 100mL</p>